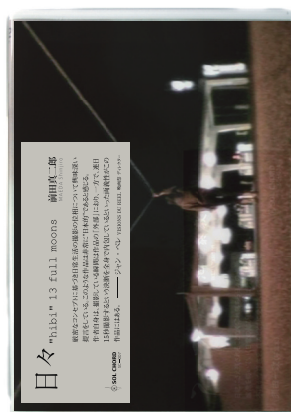


撮影行為とアートを結ぶ、DVD レーベル ソルコード

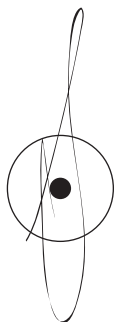
# SOL CHORD

*3rd Release*



撮影行為とアートを結ぶ をキーワードに、  
今年で三周年をむかえる DVD レーベル SOL CHORD。  
現在、二期にわたり合計 6 つの DVD が発行されています。

2008 年 10 月末に、  
前田真二郎「日々 "hibi" 13 full moons」 sc-007  
そして、  
有川滋男「NEW WORLD WATER」 sc-008  
という 2 つの DVD が発行されます。



<http://solchord.jp>

Edited & Published by Nerd, Over Clouded  
3-17-9 Nakatsu kita-ku Osaka, Japan 531-0071

# 日々 "hibi" 13 full moons 前田真二郎 sc-007

「毎日ワンカット撮影せよ それを繋げて映画を作れ」という声でした。



## 日々 "hibi" 13 full moons

山形国際ドキュメンタリー映画祭2005  
ビジョンデュレール映画祭 2006 正式招待作品

### 時間が圧縮されて、記憶が懐かしい永遠になる

映像は人間の永遠性と遍在性に対する願望から生まれた。そして、アルバムや作品として記憶を構造化してきた。前田真二郎はその記憶の構造を変えた。太陽暦と月齢を交錯させ、時間軸を入れ替えて、一月を一日に圧縮する。記憶の新たなリズムの構造が生まれる。記憶は透明になり、個人の日々の事象が懐かしい永遠に変貌する。

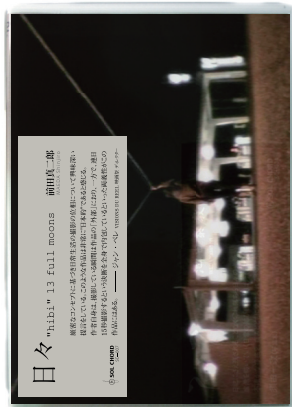
鈴木志郎康 詩人／映像作家

映像作家・前田真二郎による、1年間にわたるインプロヴァイズド・シネマ。月の運行をベースにした規則に従って、366日間、毎日15秒のカットを撮影する。この作品はカメラ付ノートパソコンによって撮影／編集が行われた。オリジナルバージョンの他に、現代音楽界の鬼才・三輪眞弘によるサウンドトラック "Music for 'hibi' 13 full moons" が選択可能。



### 前田真二郎 MAEDA Shinjiro

1969年生まれ。映像作家。90年代初頭よりビデオメディアによる映像作品を制作し、国内外での映画祭や展覧会などで発表を行う。個人による新しい映像作品のあり方を追求するとともに、舞台芸術やコンテンポラリーアートといった領域でのコラボレーションも積極的にすすめている。情報科学芸術大学院大学 (IAMAS) 准教授。



SC-007  
ISBN978-4-86219-099-4  
NTSC 定価3,800円＋税

※パッケージイメージは実物と違う場合があります

### 日々 "hibi" 13 full moons について

この作品は、毎日ワンカット15秒を撮影し、それを順番に36日間つなげたものです。撮影する時間にはルールを設けてあり、それは月の運行をベースにしています。満月の日は深夜0時に、半月は朝6時に、新月は正午に、次の半月には18時に撮影を行います。それらの間の期間は、各々の1日の時間帯をあてはめています。そのことによってワンカットごとに撮影日は異なるにも関わらず、完成した96分間は、なだらかに朝がきて昼になり、そして夜がくるというリズムを生み出します。この作品はカメラ付ノートパソコンによって撮影や編集を行いました。この作品は一見、「作者のプライベートな日記」といった印象があるかもしれませんが。しかし作者はむしろ、作者の意図を越えて多様な情報が残されていくという映像の特性に着目しています。鑑賞者それぞれの記憶を誘発するような作品を目指しました。

／前田 真二郎

# NEW WORLD WATER 有川滋男 sc-008

## 高精度な「曖昧さ」／ポスト・セルフ・ドキュメンタリー

UNIMOVIE短編映画祭/イタリアでの招待上映や、タイ・プーケットで展開されたアート・プロジェクト"Platr"の参加など、国内外から注目される新進気鋭の映像作家・有川滋男の "高精度な「曖昧さ」"



# NEW WORLD WATER

部屋の窓から外を眺めて、彼は(または私は)一日を過ごす。これは、彼(または私)についての話でも、彼の(または私の)奇妙な家族や友人の話でもなく、私たちの(または彼らの)隠された多義性そのものについての話である。ビデオカメラの前において、「彼」は「私」としての、「私」は「彼」としての役割を演じることで、わたしたちの生活に沈殿したものをあばこうとする。



### 有川滋男 ARIKAWA Shigeo

1982年 東京生まれ 2006年 東京芸術大学音楽学部音楽環境創造科卒業

写真やビデオといったメディアのもつフレームを通して、曖昧ながらも確かにあらわれる多義性を提示した作品を発表する。



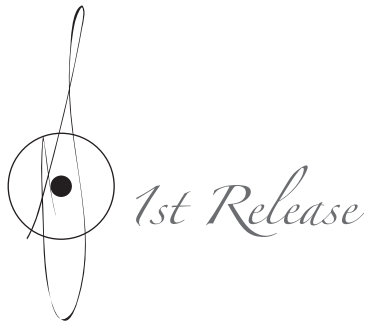
SC-008  
ISBN978-4-86219-100-7  
NTSC 定価3,800円+税

※パッケージイメージは実物と違う場合があります

知人たちから本作の感想を聞く機会が何度かあったのですが、全編にわたって登場する青年がこの作品の作者だということをほとんどの人が理解していました。作中で直接そのことは説明されませんが、作品に含まれる長い時間経過や、被写体とカメラの距離感などの情報から、無意識にそれが了解されるようです。映像世界の身体を注視するまなざしは、現実世界でのそれよりも鋭くなっているのかもしれませんが。この作品は、何もしない青年とその家族の日常生活を淡々と描いた劇映画のような体裁をしていますが、実態は時間軸をともなったセルフ・ポートレートの集積であり、その映像世界に立ち上がる身体は独特の存在感を獲得しています。その身体とは、ある意味で現実世界では決して見ることができない生々しい人間と言えるでしょう。それは捉えどころのないもので、この作品はそのような「不確かで曖昧な存在である人間」を正確に捉えた一編と考えられます。ナルシズムに耽溺せず、また自虐的にもならず、極めてニュートラルに自己を見つめる精度の高さこそがこの作品の強度であり、時代の精神を表しているのではないのでしょうか。

/SOL CHORD





SC-001  
ISBN4-86219-004-9  
NTSC 定価3800円+税

## オン 前田真二郎 sc-001

### 香港国際映画祭で絶賛された、ジャパニーズ・ニュー・スタイル・シネマ

第24回香港国際映画祭 正式招待作品

若者を取りまく複数の日常を注視する「まなざし」は旅をすることによって、中心のない平行的に紡がれる世界を関係づける。そこでは何も起こらずただ彼らは移動することにより風景に溶け込んでいく。登場人物は誰も言葉を口にしない。同時録音素材とミックスされた音響は、映像と渾然一体となってシークエンスを形成していく。コンピュータを用いた自動編集によるリミックスバージョン 2作品を併録。

それが、作為なのか無作為なのか…なんて事は既にどうでもいい事に思えてくる。そこには、確かに光に照らし出されているモノが在って、当然の事ながら、僕達にはそこに照らし出されたモノしか見る事は出来ない。そう気付いた途端に、どうしても見えないモノだって確かに在るのだ、という事に改めて気付かせられる。この作品を見ながら、確かに僕は今、こうして生きていると同時に、確実に死に向かっているんだなあ、なんて考えてました。 —— **レイ・ハラカミ(音楽家)**



SC-002  
ISBN4-86219-005-7  
NTSC 定価3800円+税

## 静カノ海 上峯敬 sc-002

### HandycamとPowerBookによる、32分間のサイレント作品

入院した彼女に会うために北海道を訪れる。そのようなプライベート映像が、極めて身体的なリズムによってモニターに映された新感覚のサイレント作品。静寂のなかでの視覚体験は、独特の没入感覚と速度を感じさせる。軍艦島の空気感が印象的な前作、「12/」、家族の残した8mmフィルムをベースに、3DCG、手描きアニメーションなど、さまざまな手法をミクスチャーした "in-" の2作品を併録。

恋人が心を病んだ。カメラはなにを撮るか？

上峯君はおそらく、とても難しいことをやっていたのだ。

北国の風景は、何千、何万ものレイヤーとなって、

いつでも彼女と重なって見えていただろうからだ。 ——

**高嶺格(美術家)**



SC-003  
ISBN4-86219-006-5  
NTSC 定価3800円+税

## 3rd Vol. 2 2 LIGHT HOUSE 真田操 sc-003

### チベットからネパールへ 真田操の "ライブパック"

山形国際ドキュメンタリー映画祭2003 アジア千波万波プログラム 正式招待作品

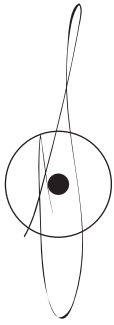
初めて訪れたチベットの地で青年と出会い行動を共にする。そして後半では、ネパールでの活動の拠点"3rd HOUSE" にて友人と再会する。作者の小さなビデオカメラが、風景や人々とセッションする。その時空は、透明感にあふれた穏やかさに包まれている。北京から中央アジアを彷徨う期間に撮影した素材を、コンピュータを用いた自動編集によってコンポジションされた "Death Fugue" を併録。

作為や仕掛けに長けた作り手も嫉妬する、

透明な光と風に包まれた旅。

童心の笑い声が、魂の純白に届く。 ——

**藤岡朝子(山形国際ドキュメンタリー映画祭)**



## 2nd Release



SC-004  
ISBN4-86219-031-6  
NTSC 定価3,800円+税

### 7×7 池田泰教 sc-004

#### カメラと日常と撮影者によるセッション、49日間

撮影は49秒ずつ49日間にわたり行われる。撮影するモチーフは作者の撮影行為を通じて即興的に決定されていく。この49日間は7日ごとに空けられるピアスによって分節され、7週間というみえない反復に沿って撮影は行われると同時に撮影者の耳は週ごとにピアスが増えていく。撮影行為における儀式性に着目し、カメラと日常と撮影者のはざまにある「言葉にならない光景」を封じ込めた映像作品。前作、処女作にあたる「たまふれ ver1.4」を併録。

日記にさえ残されることなく零れ落ちる日々の光景。  
虚無を紡いでいく日常の結び目に、彼は針(ピアス)を刺す。  
不確かな存在を、痛みとともに受け入れるかのように。

須田一政(写真家)



SC-005  
ISBN4-86219-032-4  
NTSC 定価3,800円+税

### 軌跡映画1 Cyclops 木村悟之 sc-005

#### 「軌跡映画」～数値空間と現実世界と撮影者による即興映画

作者は、ハンディGPSを用いて半径3kmの円周を24時間かけて移動しながら撮影を行っている。極めてストイックなルールのなかで行われたカメラ内編集により、「未知なる風景」に対する身体的反応を、高い純度で記録している。「軌跡映画」とは作者・木村悟之による造語であり、即興映画のニュースタイルである。テクノロジーと身体との関係を、独自の手法で軽やかに示してみせている。

設定と実行...これこそが、既に映像の中に生きている  
我々にとっての「around the world」のための旅行道具である。  
「軌跡映画1 Cyclops」には「What a Wonderful World」がある。  
恐るべし日常である。

藤本由紀夫(サウンド・アーティスト)



SC-006  
ISBN4-86219-033-2  
NTSC 定価3,800円+税

### 松前君の兄弟の神殿の形 1' 大木裕之 sc-006

#### 鬼才・大木裕之による、21世紀のインプロヴィゼーション・シネマ

「神殿の形」をめぐるハード・シンキングの記録。それは、北海道・松前町を中心に展開する。立ち上がる映像は、語り、書き、歌い、移動しながら思考する作者の生なましい身体の運動そのものであり、見るものの意識と重なり合うことで、逆説的にフィクショナルな時空を形成していく。「松前君の兄弟の神殿の形 1+」を併録。

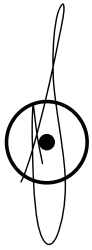
存在が立ち上がる、とてつもない美しさとして

たえまなく立ち上がる、くりかえし存在は立ち上がる。映画はその瞬間をとらえるために発明されたメディアだった。たえまなく立ち上がる、そのたびに存在は一回かぎりの形をもって、世界にあらわれを果たしては滅していく。比較を絶した美しさとして、無数の神殿として、存在はバナルな日常のただなかから、奇跡のように立ち上がるのだ。大木裕之は映像を思考のためのきよらかな道として取り戻す。ためらうことなく私は言おう、これは神秘である。

中沢新一(宗教学者)

<http://solchord.jp>

Edited & Published by Nerd, Over Clouded  
3-17-9 Nakatsu kita-ku Osaka, Japan 531-0071



DVD Label from Japan since 2005

**SOL CHORD**

<http://solchord.jp>

[info@solchord.jp](mailto:info@solchord.jp)

## ABOUT DVD LABEL "SOL CHORD"

DVD レーベル "ソルコード" について

映像表現の歴史は映画の発明から考えるならば、まだ 100 年余であり、その先鋒である絵画のクロニクルからすれば現在はまだその創世記にすぎないと言えます。

大文字の政治や大資本が映像の本質であった黎明期を通過し、いわゆるスペクタクルが映像のひとつの主流をつくった時代があったことによる技術の大衆化とそれによる光学機器の拡散が、近代世界における個人制作による映像表現を成立した事実は云うまでもないことだとおもいます。

例えば「個人制作による映像表現」に限れば、これまでもシュールリアリストによるアヴァンギャルドシネマや、60 年代に現在の MTV 文化などに大きな影響を与えたとされる、アメリカン・アンダーグラウンドシネマと呼称された作品群がまず古典としてあり、コンテンポラリーアート領域でのビデオアートや、エクスペリメンタル・シネマ（実験映画）と呼ばれる映像作品は、半世紀を経ようとしている今日でも制作されています。更に近年では、パーソナルドキュメンタリーというジャンルも確立されています。

一方でさまざまな個人制作による映像表現領域は、デジタルビデオカメラや PC の普及、それらをもたらずデジタルソリューションなどのロジスティクスの急速な洗練にともなって、今世紀にはさらに発展していこうと考える人は少なくないでしょう。

インターネット環境でインターフェースを通じて映像と接する体験、或いはインタラクティブな様式をもつ、メディアアートでの映像表現の試み、同様に各種のネットゲームが普及する近年、こうした状況に対峙する時間軸表現としての映像作品のあり方は、ようやく再考される時期にきているのではないのでしょうか。また CG 及び VFX 領域における表現技術の洗練や、銀塩表現から光学素子への移行にともない、カメラを用いた、光学的な複製像を扱う「実写表現」の可能性についても同様のことが言えるでしょう。

こうした一連のアーカイブ技術の変更を念頭におきつつ近年の DVD-Video の普及を考えるならば、従来のビデオメディア（アナログ技術）が、単に利便性の高いディスクメディアに置き換わっただけではない変化を感じています。

これまでのビデオメディアのあり方はオリジナルのフィルムやビデオ作品の「"コピー"としての普及」といった状況があることで辛うじて作品としてのオリジナル優位性は保たれていました。これに対し、DVD メディアはデジタルデータを扱うことから、いわゆる "マスター" 絶対優位性はこの時点で崩れてしまっていると思われます。誤解を恐れずに断言するならば作家の作品至上性から立脚し「常に作者のオリジナルの作品」として位置づけられるという地平がここにきてようやく開けてきたといえます。この仮説は、例えば写真家にとっての写真集が、展覧会で飾られるオリジナルプリントと同様に、「作品」としてある状況に限りなく近いものだと考えられます。

今後、高精細画像方式（ハイ・ディフィニション）の映像が当たり前パッケージとして流通するときには、こうした考え方は常に当然のこととして受け入れられるようになるのではないかと私たちは考えています。

そのような時代を見据えながら、作家のパーソナルアイを通じた映像表現を発信するレーベルをなだらかに形成し、出版活動を行っていくことといたしました。

SOL CHORD

## 問い合わせ

レーベルや 作品についての質問  
デジタル・データの請求、取材  
上映などの企画、作家の紹介 など

国内書店販売について

ライブラリー版について

### 発行:

**ナード、オーバークラウドッド** 代表 川北 佳代子

〒531-0071 大阪市北区中津 3-17-9

06-6377-8835 [Phone & Fax]

nerd@overcloud.info

<http://www.overcloud.info/>

### 監修:

**前田 真二郎**

〒503-0835 岐阜県大垣市東前 1-4-C-0

0584-82-0085 [Phone & Fax]

090-3303-2806

maeda@iamas.ac.jp

<http://www.iamas.ac.jp/~maeda/>

**取扱い (国内書店ディストリビュート) :**

**ricoshet (リコシェ)** 代表 柳ヶ瀬 和江

〒134-0085 東京都江戸川区南葛西 7-2-1-306

03-3804-3907 [Phone & Fax]

info@ricochet-books.net

<http://www.ricochet-books.net/>

**取扱い (図書館・研究施設向け) :**

**(有)アウル企画** 代表 中里 博子

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 1-31-8-827

03-6382-6530 [Phone] 03-6382-6531 [Fax]

yu24727@nifty.com